

北九州市民の会ニュース

八幡東区区民の会が

「住民福祉とまちづくり」学習会

7月27日、平和と暮らしを守る八幡東区民の会は、八幡東大谷市民センターにおいて、「住民福祉のまちづくりを考える講演&区民のつどい」を開催しました。北九州市立大学坂本毅啓教授を招いて「住民福祉とまちづくり」の講演があり、参加者に「住民のための福祉を重視したまちづくりに向けて何をしますか」と問いかけ、まず話あうことから始めて、要求で協働し行動しようと呼びかけました。徳力団地での高齢者の訪問活動や子ども食堂の報告がされ各地での活動が紹介されました。参加者からは、地域の力を発揮する高齢者の経験を活かした取り組みが必要。自治会へ積極的に参加することや市の緊急道路補修事業の活用で町内の安全・整備を16年間続けている報告などがされました。市の八幡東区子どもと母の図書館廃止など中央町付近の公共施設の廃止・集約に対して、住民の声を上げようと訴えもありました。



「若松区民の会」が若松区長を招き講演会

7月27日(金)、「わかまつ区民の会」は、古賀若松区長を招き、若松の街づくりについて講演会を開催しました。古賀厚志若松区長は、90枚のスライド(パワーポイント)を自ら作成、自ら若松区民に「若松区のまちづくり」について熱く語りました。「若松の魅力を生かしたまちづくり」や「20年後を見据えた若松のまちづくり」について客観的データを示して説明しました。「今後も区民の皆様のふるさと若松を思う気持ちを大切に、一層の賑わいづくりに取り組んでまいります」と話を結んだ。続いて、山内市議より、共産党市会議員団発行の『100万人の笑顔のために』を参考資料として、6月議会報告があり



ました。

若松区民の会は、古賀区長と双方向で対話しながら、若松の街づくりを考える機会をつくるそうです。各区で区長と語る会を持ちたいものです。

市職労親和会(退職者の会)が定期総会

7月28日(土)11時30分から、北九市職労親和会(退職者の会)第26回定期総会が開かれました。

総会に47人の会員が参加し、開会冒頭この1年間で亡くなられた8人の会員を偲んで黙祷。来賓として北九州市職労前田書記長、日本共産党の衆議院議員田村貴昭会員、北九州市議の大石正信会員から挨拶を受けました。

その後議事に入り、2017年度事業報告、2018年度事業計画、2017年度収支報告、2018年度予算(案)の提案があり、すべての議案は満場の拍手で採択されました。最後に、参加者全員で記念写真を撮りました。懇親会では、おいしい食事をいただきながら、うたごえあり、参加者からの近況報告ありの楽しい時間を過ごすことが出来ました。

田村貴昭衆議院議員は北九市職労本庁支部で書記をしていました。その後、日本共産党北九州市会議員団事務局で頑張り、小倉北区選出の市議となりました。もちろん、今は国会議員!(堀田和夫氏FBより)



八幡市民会館の活用を求める連絡会(第28回)開催

8月1日(水)、上記連絡会が開かれました。この日は、10月~11月に企画している八幡区の歴史文化の魅力を紹介するパネル展示と講演会開催について話し合いました。広く八幡区民に呼びかけ、「けやき通りの街づくりを考える会」(仮称)を新しく発足させる案も

平和と暮らしを守る北九州市民の会
〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F
TEL093-592-5000 FAX093-571-4346
<http://siminnokai.sakura.ne.jp>
e-mail:koe@siminnokai.com

提案されました。なお、連絡会が作成したリーフレット（おもて面）写真が「都市景観賞」にノミネートされ、市



民投票で賞が決まります。連絡会は、「ぜひ、投票してください」と呼びかけています。投票方法は次の3とおりです。

- ① 市庁舎1階、およびコムシティ4階に展示のパネルを見て、その場で投票する。
- ② ネットで投票する
市のホームページ「ネット窓口（電子申請）」で、「第8回北九州市都市景観賞」から市民投票する。
- ③ 景観賞・投票募集リーフレットの葉書部分を切り取って郵送
リーフレットは、市役所1階、各区役所総務企画課、出張所、市民センターにあります。
次回連絡会 8月28日（火）13：30 大谷市民センター

3000万人署名、

北九州憲法共同センターの街頭宣伝

8月4日（土）、11：00～12：00、小倉駅デッキ。北九州憲法共同センターの街頭宣伝。たまたま知らずに通って、飛び入り参加。安倍首相は通常国会で改憲発議を目標としました。しかし全国統一署名が国会に届けられ、憲法審査会での9条議論はゼロ。まさに署名の力、国民世論が戦争する国づくりにストップをかけています。3000万人署名を成功させて、宝の9条をみんなで守りましょう。（田村貴昭さんFBより）



稲嶺進講演会、300人を超える参加者が感動

8月5日（日）、辺野古埋め立て土砂搬出反対北九州連絡協議会が主催した稲嶺進講演会は、何としても辺野古基地建設を許さないという私たちの決意と熱気で満ちていました。稲嶺さんは、辺野古基地反対の沖縄の不屈の闘い、市長時代の輝かしい実績、安倍政権の姑息な争点隠し選挙戦術などを誠実に話され、私たちひとり一人の心に響きました。子どもたちの未来を守るために何をしなければならぬかを諄々と語られ、



闘いはこれからだと思いました。この機会に、辺野古埋め立て土砂搬出反対北九州連絡協議会へのご入会をよろしく広めてください。

原水爆禁止条約発効へ共同さらに！ 原水爆禁止世界大会 ヒロシマデー集会6000人

原爆投下から73回の「原爆の日」を迎えた6日、広島市民らは同市主催の平和記念式典をはじめ市内各地で、原爆が投下された午前8時15分、犠牲者を悼んで黙とうしました。式典での「平和宣言」で松井一実市長は、核兵器禁止条約の発効にむけて、日本政府に「役割を発揮してほしい」と表明。式典には日本共産党の小池晃書記局長ら党代表団が出席しました。原水爆禁止2018年世界大会・広島は、ヒロシマデー集会（閉会総会）を開催。被爆の実相を広げ、禁止条約の発効を求める国際的共同の発展をめざす決意にあふれました。県立総合体育館で開かれたヒロシマデー集会では、全国から6000人（主催者発表）が参加。市民社会と政府のさらなる共同などを訴える「広島からのよびかけ」（決議）を採択しました。日本共産党の小池晃書記局長があいさつし、国連での核兵器禁止条約の採択と朝鮮半島での非核化に向けた動きにふれ、被爆者・国民の願いに背き、禁止条約に反対する安倍晋三首相を「どこの国の総理か」と批判。「禁止条約の発効に向けて、『ヒバクシャ国際署名』を広げに広げよう。市民と野党の共闘をすすめ、禁止条約にサインする政府をつくろう」と訴えると大きな拍手が起りました。（日本共産党ホームページより）



さよなら原発金曜行動

18：00～19：00

小倉駅デッキ

8月17日、8月24日

8月31日、9月7日